



スマイル! T O G O

自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより
令和5年7月20日 第13号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

7/20(木) 全校朝礼でのお話より「明日から夏休みです」



今年も、校長室近くの掲示板に『新聞で考えよう』コーナーを作りました。昨年から数えて第9回目の今回は、令和5年6月3日の福井新聞記事(左下)から考える内容です。



この記事には「学校のきまり(東郷小でいう『東郷の子のきまり』)」について、載っていました。

私は、下の2つの問いを投げかけました。

①学校生活を送るとき、『東郷の子のきまり』はなぜあるのでしょうか。

②先生が一方向的に指導するのでなく、子どもたちと話し合いながらきまりを決めることは、みんなにとって何がよいと考えますか。

さっそく、6年生から返事が返ってきました。

<①「きまりはなぜあるのか」について>

- ・東郷っ子が安心・安全に過ごせるようにするため。
- ・きまりがなかったら、ケガをしたり、東郷小のイメージが悪くなってしまうかも知れないから。

実際にその通りですね。やはり、みんなが気持ちよく生活するために、きまりはあるのだと思います。

<②「子どもたちときまりを決めることは、子どもにとって何がよいか」について>

- 先生からだけではなく子どもの意見も入ることで、必要のないきまりや子どもにとって厳しいきまりを改めていくことができるから。(6年1組 Oさん)
- 学校生活を送っている児童自身が、自分の思う考えを出してそれを発表したりすることで、自分で考える力がつくから。(6年1組 Nさん)
- 先生だけで決めていったら、子どもたちが納得しないきまりが出てくるともあるから、子どもと一緒に考えると、自分たちが納得したきまりで学校生活を送ることができると思うから。(6年1組 Nさん)
- 「自分の考えをもち、語る力」など、4つの力「たくましさ」が身につく。大人になっても話し合ったりするときに役に立つから。(6年1組 Sさん)

どの意見も説得力のある意見で、すばらしいです。自分たちのきまりなのだから自分たちも決める場面に参加し、納得して責任をもって守っていく。そういうことなのですね。

今年度東郷小学校で、みなさんにつけてほしい力としているのはまさにそのことです。6月30日に全校で行った「自分たちのあいさつを考える」集会がまさにそうでした。このように、学校生活の中には、あいさつやきまり、その他にも、「自分たちのことだから自分たちで話し合って決め、実行できること」がまだまだあると思いますよ。

さあ、明日から約40日間の夏休みに入ります。家での生活も、「自分ごと」という点で同じだと思います。全てはつながっているのですね。1つでいい、「自分のことだから、自分で納得して決め、責任をもって実行する」夏休みにしてほしいです。

8月28日、たくましくなったみなさんと会えるのを、今から楽しみにしています。

最近の活動から ～「地域とつながる活動」をどんどん行っています～

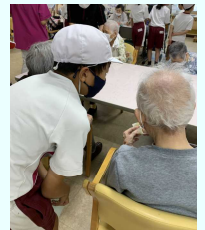
6/27(火) 4年生「福祉学習」リリーフ東郷を訪問しました

久しぶりに訪問することができました。4年生は「高齢者疑似体験」をしてお年寄りの身になって考えたり、訪問してお年寄りとのことで交流しようか考えたりして、この日を迎えました。

当日は、お年寄りの目線に合わせてしゃがんでお話をする姿、ゆっくりとわかりやすい声で話す姿、自分たちの考えた遊びを一生懸命に伝えようとする姿がたくさん見られました。お年寄りからは、「来てくれて本当にうれしかったよ。」「優しくお話ししてくれるのが伝わったよ。」「また来てくれるのを待っていますよ。」と、子どもたちの頑張りにこたえてくださるお返事が、次々に聞かれました。

最後に、「夏は来ぬ」「堂田川」を4年生全員で歌い、プレゼントとしました。お年寄りも一緒に歌ってくださり、心とお時間となりました。

4年生が帰る時、お年寄りも4年生もずっと手を振り続けて別れを惜しんでいました。4年生は、この後も「今の自分たちにできること」を考え、人や町に優しい心をどんどん育てていきます。



7/5(水) 3年生 小川公民館長さんからお話をお聞きしました

「東郷地区のことをさらに詳しく知る」ことをねらいとして、3年生が小川公民館長さんからお話を聞きました。「水(堂田川、米作り)」「歴史(長谷川秀一、お寺や神社)」「人々の心が通う町(おまつり)」などをキーワードに、今年もたくさんのお話を聞かせていただくことができました。

事前に調べ学習をした3年生は、たくさんの質問をすることができました。「堂田川という名前はなぜついたのですか」「長谷川秀一は、なぜ愛知から福井に来たのですか」「おつくね祭はなぜ始まったのですか」「花山権現はいつ、どうして始まったのですか」など、3年生からはたくさんの質問が飛び出しましたが、小川館長さんはそのすべてに丁寧に答えてくださいました。3年生は、これからもふるさと東郷について調べ、まとめていきます。



7/14(金)「おつくね音頭」練習会を開きました



ましたよ。やさしく教えてくださって、本当にありがとうございました。

8月12日(土)13日(日)におつくね祭が開かれるのに合わせ、中谷様をはじめ、東郷おもてなし隊・東郷民謡クラブの方々から、おつくね音頭を習いました。1年生から6年生まで、すぐに踊れるようになりました。



よい夏休みをお過ごしくださいね……